

第7回

いけじま

ふくまん

じいせき

池島・福万寺遺跡

現地説明会

Tomomi. N. 1995.

1995. 3. 11

(財)大阪文化財センター

いけ じま ふく まん じ い せき 池島・福万寺遺跡はタイムマシン

いけ じま ふく まん じ い せき は や お ひがしおおさか
池島・福万寺遺跡は八尾市と東大阪市にまたがる大きな遺跡で、治水緑地の建設にとも
な^{ほつくつちようさ}って発掘調査がつづけられています。これらの発掘調査によっていろいろな時代のよう
すがだんだんとあきらかになり、この遺跡の大切さがわかってきました。

やよい じ だい 弥生時代 (2200年前～1700年前ころ)

弥生時代は日本でもコメ作りがはじまった時代です。

ここ池島・福万寺遺跡でも、弥生時代の田んぼが見つかっています。弥生時代の田んぼは5m四方前後のものが多く、現在の田んぼにくらべてとても小さいものであったことがわかってきています。残念ながらムラのあった場所はわかっていませんが、さほど遠くないところにムラがあったのでしょうか。



こふん じ だい 古墳時代 (1700年前～1400年前ころ)

古墳時代は各地で大小さまざまな古墳が作られた時代です。

ここ池島・福万寺遺跡の東にも心合寺山古墳という大きな古墳が作られています。

池島・福万寺遺跡では古墳は見つかりませんが、今回の調査で建物や井戸などが見つかり、古墳時代にはムラになっていたことがわかってきました。そこからはお祭りやお供えにつかった「玉」などもたくさん出土し、失敗品も出土することから、このムラで作っていたのでは、とも考えられています。

このほか、このムラからは煮炊きにつかったカマドがたくさん出土することが非常に特徴的な点だといえます。



な 良 ・ へい あん じ だい 奈良・平安時代 (1300年前～800年前ころ)

奈良・平安時代は、奈良に平城京、京都に平安京という大きな都がおかれたはなやかな時代です。

それに比べると、ここ池島・福万寺遺跡のあたりにはのどかな田畑がひろがっていたようです。

ただ、調査の結果、弥生時代の小さな田んぼではなく、正方形にきちんと区切られた大きな田畑がつくられたことがわかりました(条里制)。



かまくら じ だい げんだい 鎌倉時代～現代 (800年前～いま)

ここ池島・福万寺遺跡の周辺では、鎌倉時代から現代にいたるまで、正方形に区切られた条里の地割りをまもりつづけていたことがわかってきました。

とくにこのあたりでは田の一部を高くした「島畑」がつくられていたことが発掘調査によってあきらかになりました。

江戸時代にはそこで綿をさかんに栽培し、それをつかって有名な「河内木綿」をつくっていたことがわかっています。

(財)大阪文化財センターでは1989年から池島・福万寺遺跡の発掘調査にとりくんでいましたが、今年度をもって福万寺Ⅰ期地区と呼ぶ部分（恩智川の西側）の調査を終わることになりました。これまで数々の発見がありましたが、弥生時代から現代まで田んぼや畑として使われていた時代が多いなかで古墳時代だけはムラがつくれ、人々が住んでいたことがわかってきました。昨年4月から始まった池島Ⅰ期地区（恩智川の東側）の調査でも古墳時代の地面からは田んぼや畑はみつからず、土器がたくさんみつかりました。さらに頭を飾るくしや土でつくられた水鳥の一部、変わった形の土器などとともに、中国から伝来した鏡の破片がみつかりました。古墳時代の鏡は今の鏡のように姿をうつすものではなく、限られた人しか持つことをゆるされなかった宝物のようなものと考えられています。鏡の破片は4年前の調査でも穴をあけてペンダントのような使い方をしたと想像できるもの（懸垂鏡）がみつかりっていますが、このような遺物がいったいどうしてこの遺跡でみつかることになったのでしょうか。今回は古墳時代の池島・福万寺遺跡について、これまでの調査成果をまとめながらあたらしくみつけた珍しい遺物を紹介したいとおもいます。

池島・福万寺遺跡出土の土器

(scale=1/8)

(弥生土器)

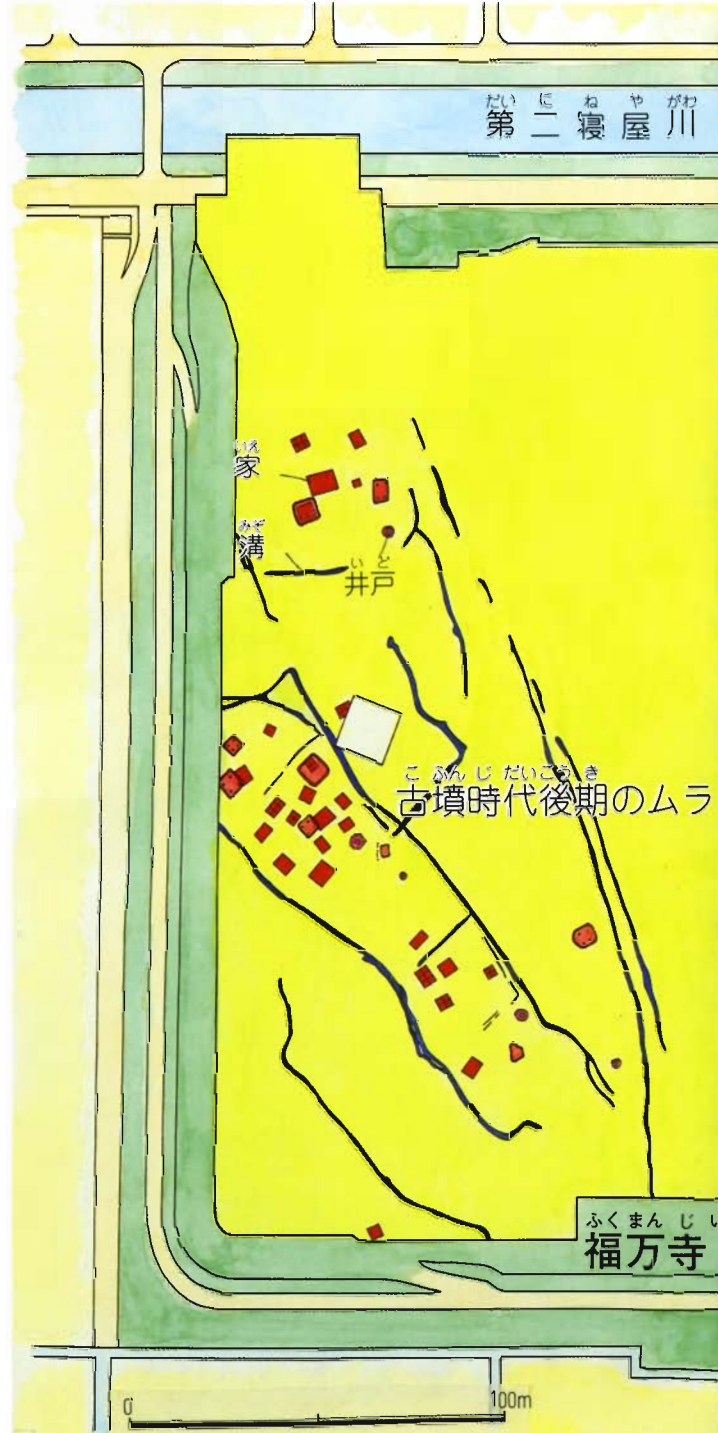
(土師器)

(須恵器)

池島・福万寺遺跡のできごと		周辺のできごと
3世紀	弥生時代	●水田が大洪水でうまる (土器1)
		●この頃を中心にたくさんの土器が 穴にうめられる (土器2~4)
4世紀		●鏡（ペンダント）が捨てられる
		●平行する2本の大溝が掘られる (土器5)
5世紀	古墳時代	●山すそに前方後円墳が 築かれる (西の山古墳など)
		●中河内地方最大の 心合寺山古墳築かれる
6世紀		●ムラがなくなり多くの 建物がつたえられる (土器10~13)
		●ムラに人が住まなくなる
7世紀	飛鳥時代	●土器がうめられたり (土器14~16) 南北方向の溝が掘られる。 (=条里地割の開始)
		●生駒山西麓に群集墳が 多数築かれる (高安古墳群 山畑古墳群ほか)
		●愛宕塚古墳築かれる

空から見た古墳時代の池島・

古墳時代にはさらに古い弥生時代の地面におおった洪水となりまして。砂がたくさんたまったところは地面が高く、古墳時代の中頃になって地面の高い西寄りの部分を中心にムラのいまのところ家のあとなどはみつからず、溝や穴（土坑）



ムラのなかには家や井戸などの他に溝や穴がたくさん掘りすてたり、わざと土器をうめたりしたようです。くちのた壺（つぼ）もうめられていました。

福万寺遺跡

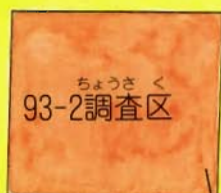
ではこぼれてきた、砂や粘土の上が地面、少ないところは低くなっています。古うがつくられました。恩智川の東側ではしかみつかっていません。



94-1調査区

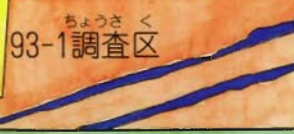


93-1調査区



93-2調査区

今回調査したところ



93-1調査区

恩智川

94-1調査区

古墳時代前期の遺構

鏡出土地点

たて櫛出土地点

94-2調査区

土製の水鳥出土地点

池島Ⅰ期

ここからさらに150 m 東にいったところではこんなふうにはペンダントにも使える鏡の破片がみつかったのだ！



られ、こわれた土器を
ところに赤い色をぬつ



鏡の破片

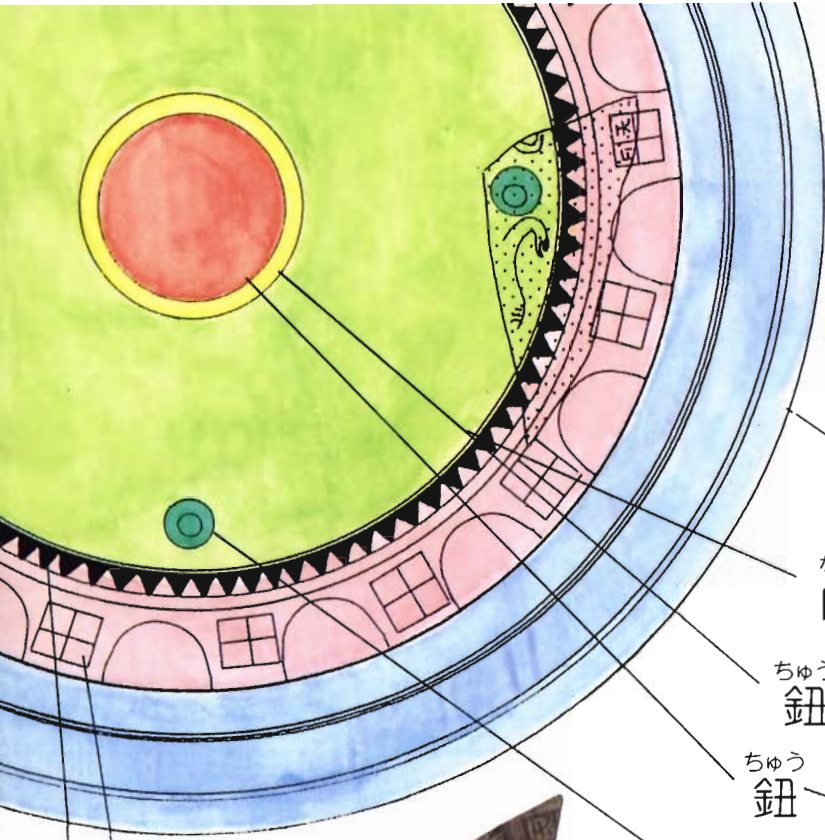


穴の中からみつか**いぶつ**る遺物

土坑^{どこう}とよばれる穴のなかから土器などがたくさん見つかりました。古墳時代でもはじめてころ（3～4世紀^{せい}）のものです。



鏡 鳥 く し つ ぽ



がいく
外区

ほうかくしにゅうきょう
方格四乳鏡

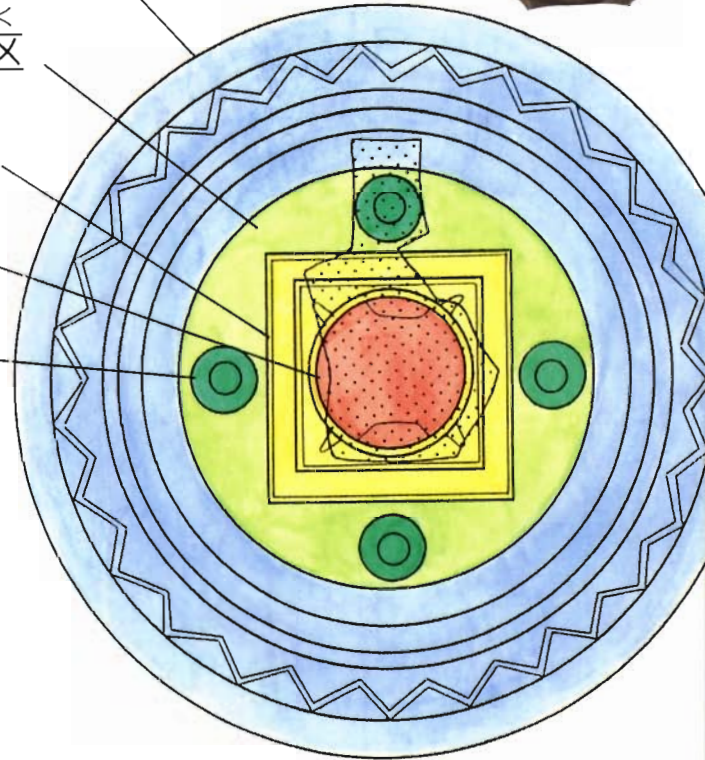


ないく
内区

ちゅうざ
鈕座

ちゅう
鈕

にゅう
乳



しんじゅうきょう
神獸鏡



はんえんほうかくたい
半円方格帯

けんかいきよ し もん
圈界鋸齒紋

さんこう ふじいでらし
〈参考〉 藤井寺市
つどうしろやまこ ふんしゅつど
津堂城山古墳出土
みずどり はにわ
水鳥の埴輪

たてぐし
豎櫛



とうぶ
頭部

どせいみずどり
土製水鳥



たいぶ
体部



いけいどき つぽ
異形土器 壺

池島・福万寺遺跡と周辺の古墳

今回みつけた遺物はこれまで知られてきたムラの時代より少し古い時代のもので、ムラができる以前から人々がこの周辺で活動していたことがわかります。特に鏡などの遺物がみつかったことは重要な発見であることはいうまでもありません。しかしなぜこの遺跡でみつかったのか、その理由をすることはかんたんではないのです。鏡・くし・水鳥などは普通お墓である古墳でみつかるものですが、ここでは数も少なく、これまでの調査でも古墳はまったくみつかりません。しかし地図を広げてみると、西の山すそや東の平野には古墳がつくられていることがわかります。けっして近い距離とはいえませんが、今回みつけた遺物はこれから周辺の古墳や古墳時代のことを考えていくための重要なヒントになるのかもしれません。

1. 瓢箪山古墳
2. 猪の木塚古墳
3. 山畑古墳群
4. 禿山古墳
5. 西の山古墳
6. 花岡山古墳
7. 鏡塚古墳
8. 心合寺山古墳
9. 向山古墳
10. 愛宕塚古墳
11. 高安古墳群
12. 郡川西塚古墳
13. 郡川東塚古墳
14. 菅振1号墳

